

令和 3 年 度

決 算 審 査 意 見 書

湖南衛生組合監査委員

022～40（湖衛組発）

令和4年10月6日

湖南衛生組合

管理者 山崎 泰大 様

湖南衛生組合監査委員 乃一 祐太

湖南衛生組合監査委員 森戸よう子

令和3年度湖南衛生組合歳入歳出決算及び
基金の運用状況を示す書類の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和3年度
湖南衛生組合歳入歳出決算及び証書類、その他政令で定める書類並びに
同法第241条第5項の規定により審査に付された基金の運用状況を
示す書類を審査したので、その結果について次のとおり提出します。

令和３年度湖南衛生組合歳入歳出決算及び
基金の運用状況を示す書類の審査意見書

- 1 審査の対象 令和３年度 湖南衛生組合歳入歳出決算書
令和３年度 湖南衛生組合決算附属書類
令和３年度 基金の運用状況を示す書類

- 2 審査の期日 令和４年１０月６日

- 3 審査の方法

審査にあたっては、決算書及び附属書類並びに基金の運用状況を示す書類について、地方自治法等関係法令に準拠して調製されているかどうか、決算の計数は正確であるか否かを検証するとともに、予算は適正に執行されているか、基金は適正に運用されたか等を主眼として、関係書類及び帳簿類と照合その他通常実施すべき審査手続きにより実施した。

- 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、証書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

5 審査の概要

本決算の歳入総額は、1億3,140万3,534円であり、歳出総額は1億1,866万4,058円で、歳入歳出差引額は1,273万9,476円となり、すべて翌年度へ繰越されている。

歳入決算総額1億3,140万3,534円を予算現額1億3,177万3,000円と比較すると99.7%の収入率であり、不納欠損額及び収入未済額は発生していない。

これらの歳入決算額の内訳を款別でみると、分担金及び負担金は9,435万5,000円で歳入決算額総額に対する構成比率は71.9%、同様に財産収入は2,095万4,609円で15.9%、繰入金は870万1,000円で6.6%、繰越金は734万5,571円で5.6%、使用料及び手数料は3万9,600円で0.0%、諸収入は7,754円で0.0%となっている。

分担金及び負担金9,435万5,000円の組織市の負担割合は、武蔵野市が24.6%、小金井市が9.9%、小平市が26.9%、東大和市が23.2%、武蔵村山市が15.4%となっている。

財産収入2,095万4,609円は、旧第四水源用地売払収入が2,086万円、旧第六水源用地貸付収入が9万2,400円であり、他は基金より生じた預金利子である。

繰越金734万5,571円は、令和2年度の歳入歳出差引額である。

使用料及び手数料3万9,600円は、電柱等占用料である。

諸収入7,754円は、会計年度任用職員雇用保険料本人負担分が5,329円であり、他は遺族共済年金附加事業に係る事務費である。

歳出については、歳出予算総額1億3,177万3,000円に対し、支出済

額は1億1,866万4,058円で、執行率は90.1%となり、1,310万8,942円の不用額を生じた。

支出済額の1億1,866万4,058円を性質別に区分すると、経常費について、人件費が4,269万8,734円で支出総額に対し36.0%の構成比率となっている。同様に物件費は4,400万5,522円で37.0%、維持補修費は686万9,500円で5.8%、扶助費は11万5,000円で0.1%、補助費等は34万7,693円で0.3%となっている。経常費以外については、積立金は2,462万7,609円で20.8%となっている。

経常費のうち、物件費の4,400万5,522円は、委託料が3,028万5,094円で68.8%、次いで、使用料及び賃借料が634万1,286円で14.4%、需用費が497万6,025円で11.3%の順となり、合わせて94.5%と、3つの費目で物件費全体の9割以上を占めている。

維持補修費の686万9,500円は、処理施設の定期整備にかかる工事、及び機器の不具合に対する緊急修繕である。

扶助費の11万5,000円は、職員の児童手当である。

補助費等の34万7,693円は、公平委員会等に係る負担金、建物災害共済保険料、自動車損害保険料、汚染負荷量賦課金等である。

経常費以外について、積立金の2,462万7,609円は、施設整備基金に対して旧第四水源用地売払収入2,086万円及び旧第六水源用地貸付収入9万2,400円並びに基金から生じた預金利子2,000円を積み立て、また、財政調整基金に対して令和2年度歳計剰余金の一部367万3,000円及び預金利子209円をそれぞれ積み立てるために支出したものである。

不用額1,310万8,942円の内訳は、し尿処理場費の894万7,552円が

不用額全体の 68.3%、総務費の 203 万 8,060 円が 15.5%、予備費の 200 万円が 15.3%、次いで、議会費の 12 万 3,330 円が 0.9%の順となっている。

基金について、財政調整基金は令和 2 年度末残高である 2,046 万 6,938 円に、先の積立金の説明にあるように 367 万 3,209 円が積み立てられた一方で、275 万円が取り崩されたため、令和 3 年度末における残高は 2,139 万 147 円となった。

施設整備基金は、令和 2 年度末残高である 1 億 1,078 万 2,751 円に、同じく先の積立金の説明にあるように 2,095 万 4,400 円が積み立てられた一方で、595 万 1,000 円が取り崩されたため、令和 3 年度末における残高は 1 億 2,578 万 6,151 円となった。

6 むすび

令和 3 年度は、旧場外水源用地のうち、旧第四水源用地を売払い、売払収入を施設整備基金に積み立てている。また、前年度に引き続き、旧第六水源用地を駐車場として事業者へ貸し付けを行い、有効活用している。引き続き残る 2 カ所の旧場外水源用地について、売却促進を図られたい。

組合運営に係る財源は、ほぼすべてが組織市からの分担金であるため、基金を活用することで施設の維持管理に係る費用を平準化し、分担金を適正な水準で維持するよう、引き続き努められたい。

組織市において、新型コロナウイルス感染症に伴う様々な対策事業が継続して行われており、引き続き厳しい財政状況が続いていることから、

維持管理経費について、引き続き縮減に努め、適切に見直しを図られた
い。

し尿処理業務は市民生活に欠かせない業務であり、公衆衛生の向上等
のための重要な事業である。今後も効率的な運営を引き続き円滑に進め
るとともに、菖蒲園についても景観を保持しながら適切な運営に努める
ことを望む。